

高規格道路は、我が国の産業発展に資するとともに、大規模災害時における広域支援ルートとして国民の命を守る社会資本の要である。

激甚化・頻発化する災害による脅威とコロナ禍で甚大なダメージを受けた地域経済の復興等に対応していくため、ミッシングリングの早期解消によるダブルネットワークの構築や暫定2車線区間の4車線化、スマートICの整備など既存高速道路の機能強化は喫緊の課題であり、財政が逼迫する中、国民の生命・財産を守る高速道路ネットワークの構築、持続可能な維持管理に向けて、次に掲げる事項の実現を強く要望する。

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること。

また、改正国土強靱化基本法を踏まえ、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

一、平時でも災害時でも安定的な人流・物流を支える強靱なネットワークの構築のため、高規格道路のミッシングリングの早期解消及び暫定2車線区間の4車線化、耐震強化、新東名・新名神の6車線化を推進すること

一、特に、暫定2車線区間の4車線化については、優先整備区間の整備をよりスピードアップして行うこと

一、有料の高速道路の良好なインフラを持続的に利用するため、料金徴収期間の延長による財源を活用し、更新事業等や暫定2車線区間の4車線化などの機能強化を着実に進めること

一、国が管理する無料の高速道路において、必要に応じて機能強化を図りつつ、維持管理を確実に実施するため、有料制度の活用など安定的な財源の確保について、地域の意見も踏まえ検討すること

一、高速道路のさらなる利活用を促進し、地域との連携を強化するとともに、カーボンニュートラルを推進するため、ポイント渋滞対策の実施及びスマートICの整備、ETC専用化、休憩施設の機能強化等を推進すること

一、高速道路における混雑の緩和を図るため、混雑状況に応じて料金を可変とするロードプライシングを導入すること

一、高速道路会社が販売している観光周遊パスについて、都道府県や観光事業者等との連携を強化すること

資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和6年度予算では、道路関係予算を拡大した上で、所要額を満額確保すること。